

嘉麻市社協だより

仮設住宅で暮らす
浪江町のみなさんに
元気を

なみえ



10月10日、二本松市安達運動公園敷地内の応急
仮設住宅で、福島県中華飲食業生活衛生組合が
なみえ焼そば振る舞い会を開催

発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

No.
69

発行日 2011.11.1

浪江町のみなさんに、 普通の日常が戻るまで

事務局次長 渡辺 進

福島県は、太平洋沿岸寄り

を浜通り、中央を中通り、新潟県寄りを会津地方と呼んでいます。その浜通りに位置する福島県浪江町(双葉郡)は、3月11日の大震災による原発事故によって、避難指示区域及び計画的避難区域に指定され、町民のみなさんは、住み慣れたまちから退去せざるを得なくなりました。

地震発生後、着のみ着のままで避難した方がほとんどで、避難先では、ビニール袋をかぶって寒さをしのいだと言います。あれから7カ月以上が経過した現在も、町には許可がなければ立ち入ることができない状態が続いています。そのため、町民のみなさんは、中通りに位置する桑折町、二本松市、福島市、本

宮市に建設(10月12日現在

2、847戸が完成)された応急仮設住宅(以下「仮設」という。)に入居(2、084戸、4、767人、入居率73.2%)したり、借り上げ住宅やアパートへの入居、県外への避難と、バラバラになってしまっています。当然、浪江町の役場や社会福祉協議会などの機能も町外へ移転せざるを得ず、

いずれも二本松市内の公共

施設等を借用して事務所を立ち上げて、業務を行っていません。このような中、福岡県(29社協)と埼玉県(6社協)の市町社会福祉協議会は、全国社会福祉協議会の要請を受けて、9月12日から概ね1週間を1クールとして、職員2名ずつを、被災した浪江町社会福祉協議会(以下「浪江町社協」という。)に派遣しています。

要望(相談ごと)を聞き取る等の役割を担う生活支援相談員が28名雇用されています。相談員の多くも被災されており、前職が

漁師、飲食業、ホームヘルパーであった方など様々です。4人の支援職員は、相談員が聞き取ってきた要望等の内容を整理したり、不足等があれば加筆、修正して、浪江町社協の担当職員さんが、連絡調整しやすいようにすることや、相談についてのQ&Aを作成して、相談員の資質向上につなげていくことが主たる役割です。また、活動実績を日々入力したり、福島県社会福祉協議会への月次報告、さらには、法人業務の雑務なども担います。



二本松市安達運動公園に建てられた応急仮設住宅(250世帯の方が生活)

ことなど、その内容も多岐に渡り、解決に時間を要するものも出てきています。今回、浪江町社協の支援に入ったことは、時間の経過とともに関心が薄れつつあった私に、被災地の現実を再認識させてくれました。放射線が体内に蓄積していくことに不安を持ちながら、訪問している相談員のみなさん。自身も被災されているながら、町民のために懸命に頑張っておられる職員の方々。仮設は、車がなければ買い物すら難しい、市街地から離れた場所にあること。仮設には高齢者の方が多いため、あらたなコミュニティ(つながり)づくりが急がれていることなど、



浪江町役場二本松第二事務所の中に浪江町社会福祉協議会も入る

現在、浪江町社協には、仮設住宅を訪問して話し相手となったり、支援策等の情報を提供したり、また、様々な

現在、浪江町社協には、仮設住宅を訪問して話し相手となったり、支援策等の情報を提供したり、また、様々な

現在、浪江町社協には、仮設住宅を訪問して話し相手となったり、支援策等の情報を提供したり、また、様々な

どれも福岡では分からないことばかりでした。

来年1月からは、ポイント毎に、除染作業がスタートするそうです。将来、浪江町に戻ることにについては、幼い子どもをもつ世代と、中高年の世代とでは、その思いに大きな違いがあると言います。本来に多くの課題が横たわっていることを知り、あらためて福岡から何ができるかを自問自答することとなりました。

二本松市を離れる10月15日の午前中、車を借りて立ち入り禁止区域との境界(二本松市の駅から40数kmの地点)まで行きました。そこは、浪

江町に入つて間もなくの所で、警察車両が横付けされ、数名の警察官が立っています。道路の両端や民家の周囲には雑草が生い茂り、日々の営みは消え、あの日から時間が完全に止まっているようでした。

この現実を受け入れて、前に向つて歩んでいる浪江町のみなさんの気持ちに伝えていくためにできることは、目にした被災地の状況を伝えること、決して浪江町のことを忘れないこと、出来ることで末永く支援し続けていくことだと思っています。みなさんのもとに普通の日常が戻るまで。



ここから1km先が、放射線による立入制限区域

在宅介護を続けるポイントとは

9月27日(火)、山田ふれあいハウスで在宅介護講習会を開催し、9名が参加しました。

講師の田代京子さん(福岡県地域介護実習・普及センター長)ご自身も、在宅でお父さんを介護されていることから、介護者としての苦労や思いは人一倍理解されています。

田代さんは、どうしても無理をしがちな介護者のみなさんに、「介護で人生を犠牲にするのではなく、お互いが生きる喜びを感じながら、生活していくことが必要だ」と、頑張らない介護を

強調されました。

紙おむつの上手な使い方を説明する田代さん



参加者の一人は、「プロの方でも同じように葛藤があることを知って、気が楽になりました」と、安

堵の言葉を口にします。

その後行われた松本由佳子さん(同センター職員)の指導による

リフレッシュユ体操では、音楽に合わせて手足を動かし、体

をリラックスさせると、みなさんの顔からは、自然と笑みがこぼれていました。

最後の情報交換では、日頃の悩みなどが語られる中で、介護者でなければわからない心情が共有され、「自分だけではない」との思いが広がったように感じます。

今回の講習会をつうじて、在宅介護を続けるポイントは、まず、サービスを上手に利用して、介護者自身がリフレッシュすること、そして、一人で思い悩まないよう、介護者同士で語りあったり、周囲の方にも支えてもらうことが大切であることを学びました。



みんな笑顔でリフレッシュ体操

ネグレクト (養育の放置・放任、不十分な養育)



あべ かずひこ
安部 計彦氏 プロフィール

西南学院大学人間科学部社会福祉学科准教授

甲南大学文学部社会学科卒業後、北九州市児童相談所に入職し、子どものケアにあたる。児童相談所心理判定員、判定係長、北九州市立障害福祉センター障害者福祉係長などを経て、2005年より西南学院大学で、児童虐待の予防と対応を研究。

日本子ども虐待防止学会理事、全国児童相談研究会評議委員、福岡市児童福祉審議会委員、福岡県志免町子どもの権利救済委員、日本学校ソーシャルワーク学会理事。

編著 「ストップ、ザー児童虐待」ぎょうせい 2001
「一時保護所の子どもと支援」明石書店 2009

児童虐待には、4つの種類があります。子どもを叩いたり首を絞めるなどの直接的な暴力である「身体的虐待」、

『死ぬ』や『あんたなんか産まなければよかった』などの言葉の暴力やきょうだいで

差別的な取り扱いである「心理的虐待」、子どもに性的な行為をする「性的虐待」、そして「ネグレクト」です。

ネグレクトと言えば昨年5月に大阪で若い母親が1歳と3歳の子どもをマンションに1カ月放置して餓死させた事件を多くの方は覚えておられると思います。それ以外にも、両親がパチンコに熱中して子どもが自家用車内で熱中症で亡くなったり、夜間に保護者が不在で小さな子ども達だけが焼死した事

件もネグレクトとして理解する必要があります。では次のような場合はどうでしょうか。

あるお父さんは一人で子育てをしています。会社で残業や通勤で家に帰ってくるのが毎日夜の9時近くになります。小学生の子どもはそれまで一人で家で帰りを待っています。時にはコンビニでお菓子の万引きがあります。

別のお母さんは病気があって、朝なかなか起きられません。また洗濯や掃除も身体がきついで十分できません。その結果、子どもは保育園や小学校を休みがちです。衣服は汚れ、食事も十分ではありません。

3番目の親御さんは両親とも理解力に少しの遅れがあります。そのため学校で必要な品物や書類の提出が遅れるだけでなく、子どもが『学校に行きたくない』と言うと、理由も聞かずそのまま休ませてしまいます。

児童虐待は子どもの視点から考えます。そのため子どもにとつて必要な養育が十分に行われていない状態はネグレクトと判断し、子どもと親へのかかわりが始まります。

一般の方々も「子どもがかわいそう」と同情し、親御さんに対して『ひどい親だ』とか『親としての責任を果たしていない』と怒りの感情が出てきます。このように保護者を責める気持ちになることは十分理解できます。

しかし最初の例では、お父さんの仕事で仕方がない面もあります。2番目の例では、病気が原因です。3番目の例では両親がいくら頑張っても限界はあります。このようにただ単に親御さんを責めるだけでは問題は解決しません。近隣や地域の人たちが助けてくれれば、親子ともに助かるだろうと思います。

前回お話ししたように現代の子育てにおいて、親は誰もが子どもを虐待する可能性があるわけですし、親だけで子どもを健全に育てていくことは困難です。子どもを育てる第一義的な責任は親にあります。それが不十分な場合は、社会の責任としてすべての子どもを健全に育てる義務があります。

その「社会」を児童相談所や役所だけの責任とするのではなく、地域の人たちが親御さんと一緒になって子どもを育てることはできないでしょうか。

そのためには日ごろから地域で子育てを助け合う関係作りが大切だと思います。

陶芸の魅力に触れる

本会の指定管理施設である碓井千歳会館には、大・小会議室の他に、染物室や焼物室があります。

焼物室には、土を成形しやすい高さのテーブルや、素焼き・本焼きができる大きな窯があり、陶芸設備が整っています。

先日、この部屋を利用して、2つの陶芸教室を開催しました。1つは、同館を利用して毎月行っているおしゃべりサロンに参加した親子が、素焼きの皿に絵付けをし、もう1つは、稲築地区で地域の福祉活動をしている福祉推進員の方が、手回しろくろを使って思い思いの湯のみやコーヒークップに挑戦



おしゃべりサロンで絵付けに挑戦

しました。

いずれも

初めて挑戦

された方が

ほとんどで

したが、琴

平陶芸サー

クル(代表 藤嶋和明さん)の

メンバーに指導してもらい、作

陶の過程を楽しく学びました。

みなさんは陶芸の面白さに触れ、

会話も少なくなるほど真剣に

取り組んでいました。



思いどおりの形にならずに悪戦苦闘

焼物室のご利用はサークル単位となります。(利用申請が必要です。)

利用可能日時

月～金曜日 8時30分から17時
※祝日・年末年始を除く

利用料

3時間以内…1500円(冷暖房使用時2,250円)
以後30分ごと…500円(冷暖房使用時750円)

問い合わせ 碓井千歳会館 ☎0948-62-3538

ホームレス支援物資募集 冬の支援にご協力ください

厳しい寒さを迎えるこれからの季節は、路上生活者にとって、命の危険を伴うこともあります。本会では、今年も越冬支援物資を下記のとおり募集いたします。また、炊き出し、巡回活動と一緒に参加して下さる方も募集していますので、ご協力をよろしくお願い致します。

《越冬支援物資の募集》

◆募集期間

平成23年11月1日(火)
～平成24年1月13日(金)

◆募集する物資

男性用ジャンパー、毛布、軍手、靴下

◆お届けいただく際の注意点

- ・上記以外の物資はご遠慮ください。
- ・男性用ジャンパー、毛布は、使用可能で、洗濯またはクリーニングしたものに限り
- ます。
- ・軍手、靴下は、未使用のものに限り
- ます。

◆受付場所

稲築住民センター1階
(嘉麻市岩崎1143番地3)

《支援活動ボランティアの募集》

◆活動日時

平成24年1月20日(金)
18時出発 23時帰着予定

◆活動内容

NPO法人北九州ホームレス支援機構が実施する炊き出しや、巡回活動に参加します。

◆募集人数

3名程度(18歳以上の方)



お問い合わせ先 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

かまボランティア 市民活動センター情報

2011年
11月

ボランティアグループ紹介 No.9

らくしょうか
楽・笑・歌

このコーナーでは、市内で活動するボランティアグループを紹介します。
今回は、ウクレレ担当の佐々木さん、ハーモニカ担当の川本さんの二人で、公演活動をしている「楽・笑・歌」です。

どのような活動をされているのですか。

嘉麻市や北九州市、飯塚市の福祉施設や地域の行事などで、ウクレレ漫談や昔懐かしい曲のハーモニカ演奏を行っています。結成から2年が経ち、これまで60回以上の公演を重ねてきました。

活動の中で心掛けていることはありますか。

私たちが目指しているのは、グループ名のとおり、みんなで楽しく、笑って、歌うことです。そのため、来場者にたくさん歌ってもらえるよう、年齢層にあった選曲を心掛けています。漫談では、誰も不愉快にさせない、傷つけないことを心掛け、また、来場者の方の役に立つように、振り込め詐欺への注意を呼びかけています。

活動して良かったと思うことは

涙を流しながら懐かしい曲を口ずさむ姿やみなさんの笑顔を見ていると、やって良かったなと思います。

これからの目標を教えてください。

まず、今の活動を一日でも長く続けて、笑顔を届けていきたいと思います。また、地域の行事などに伺うと、男性の参加者が少ないのが気になります。定年退職後の男性が地域で生き生きと生活できるよう、何かサポートしていきたいと考えています。



イベント・ボランティア情報

第11回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭

第11回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭が開催されます。小さなお子様から高齢者の方まで楽しめるイベントが盛りだくさんです。入場無料ですので、ぜひご来場ください。

日時 平成23年11月19日(土) 10時～17時
11月20日(日) 10時～16時

会場 イイツカコスモスコモン
飯塚市飯塚14-66

内容 野球解説者・タレントの板東英二さんによる記念講演、ねんりんファッションショー、合唱フェスティバル、民謡コンクール、東北地方の名産品が集まった「東日本復興おうえん市場」、親子で楽しめる「ふくすくキッズパーク」等

お問い合わせ先

福岡県社会福祉協議会
福岡県ねんりんスポーツ・文化祭実行委員会事務局
☎092-584-1401

文化祭のお手伝い

～特別養護老人ホームひまわり園
介護老人保健施設 ほ乃ぼの園 合同文化祭～

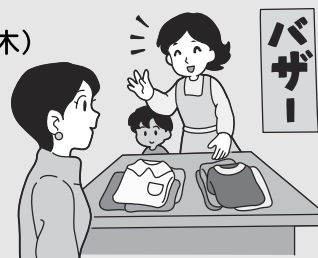
日時 平成23年11月20日(日) 12時～15時

場所 ひまわり園 食堂・ラウンジ

活動内容 バザー(屋台)売場の補助、会場案内等

募集人数 10名程度

募集締切 11月10日(木)



ふれあいハウスで凧作り 参加者募集

山田ふれあいハウスは、市民のみなさんが、気軽に集い、交流できる施設です。

この度、その館内会議室で、山田地区の小学生を対象に竹ひごと障子紙を使った凧作りに挑戦します。完成した凧を揚げて、交流を深めたいと思いますので、ぜひご参加ください。

- 開催日時** 平成23年12月3日(土)9時～13時
- 会場** 山田ふれあいハウス(上山田502番地6)
- 参加対象** 山田地区の小学4年生から6年生
※親子での参加も可能です。
- 参加費** 200円
- 募集期間** 平成23年11月1日(火)～11月25日(金)
(申し込み・問い合わせ先)
山田ふれあいハウス ☎0948-52-1847

義援金をお寄せいただき、 ありがとうございます。

東日本大震災の復興のために、義援金をお寄せいただいています。
誠にありがとうございます。

(9月11日～10月10日受付分)

カットサロンキング 森松真也様

<募金箱を通じて>

道の駅うすい、スーパーASO大隈店、碓井千歳会館、
トレードマート稲築店、社会福祉法人山田慈恵会、
珈琲工房ふれん堂、福岡嘉穂農協山田支所、カッホー馬古屏、ホームプラザナフコ稲築店、障害者支援施設三愛園、サンコー銭代坊店、ポプラ稲築山野店、
food way稲築店、稲築住民センター、生鮮ディスカウントフレッシュ8稲築店、秋穂整骨院、嘉麻市稲築庁舎、嘉麻市山田庁舎、嘉麻市碓井庁舎、嘉麻市嘉穂庁舎

※順不同で掲載しております。

※9月30日までに受け付けた義援金につきましては、中央共同募金会に送金いたしました。

12月の 総合相談

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申し込みください。

法律相談

と き: 12月1日(木) 13:00～16:00
と ころ: 山田ふれあいハウス

と き: 12月15日(木) 13:00～16:00
と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談

と き: 12月14日(水) 13:00～15:00
と ころ: 稲築住民センター

と き: 12月28日(水) 13:00～15:00
と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ?

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

問題

本会職員が支援に入った浪江町社会福祉協議会の事務所は、どこにあるでしょうか?

- (1) 二本松市
- (2) 陸前高田市
- (3) いわき市

◆応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③住所、④電話番号、⑤氏名、⑥年齢をご記入の上、11月30日(必着)までに、ハガキ、またはEメールでご応募ください。

◆送付先

〒820-0205
嘉麻市岩崎1-143番地3 嘉麻市社会福祉協議会
tiki@kama.syakyo.com

◆前号のクイズの答え(3)

ちよっと聞かせて一言インタビューで取材した方々が迎えた米寿とは、八十八歳でした。ご応募された方から社協だよりの感想をいただきましたので、いくつか紹介します。

- ・ためになって面白いです。
- ・赤い羽根共同募金の内容がよく分かりました。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

みなさまの善意、心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し
9月1日～9月30日受付分



●香典返し

【口春】

親族 安部 隆嘉様
故 安部 美知子様

親族 福澤 末男様
故 福澤 とも子様

【鴨生第二】
親族 吉田 嘉利様
故 吉田 マキ子様

【平第一】
親族 永水 成一様
故 永水 初子様

【宮地】
親族 森 友栄様
故 森 泰 様

【緑ヶ丘】
親族 高尾 豊子様
故 高尾 節治様

【熊ヶ畑第二】
親族 大里 憲之様
故 大里 清子様

【下宮】
親族 市岡 待子様
故 市岡 絹子様

【中央】
親族 山崎 正三様
故 山崎 泰武様

【三菱第二】

親族 山下 末男様
故 浅田 かほる様

親族 梶嶋 健一様
故 梶嶋 エツ子様

【古河】
親族 伊藤 三千年様
故 伊藤 チズ子様

【三日町】
親族 大里 覚様
故 大里 サダ子様

【下牛隈】
親族 佐藤 シモ子様
故 阪本 アヤ子様

【西馬見】
親族 石本 守 罔様
故 石本 ツギエ様

【桑野】
親族 大里 洋子様
故 大里 成彦様

【上】
親族 大塚 修様
故 大塚 都 様

親族 江藤 トシエ様
故 江藤 つぐる様

親族 大里 義隆様
故 大里 義隆様

親族 大塚 修様
故 大塚 都 様

親族 大塚 修様
故 大塚 都 様

●初盆返し

【漆生中央】

親族 大里 玲子様
故 大里 義孝様

【一般寄付】

嘉穂の名水愛好者一同 様

【子育てリユース】

漆生南部 内山 好美様
山野第一 山田 尚子様
山野第二 西村 優起様
漆生老松 増田さと子様
飯田 陶山 浩美様
桑野 江藤 明 様
西川 小川 隆広 様
宮吉 匿 名 様
飯塚市 内藤 寿枝 様

【アルミ缶】
漆生本村 匿 名 様
樋渡 藤春喜代士 様
平東 匿 名 様
下白井東 匿 名 様
百々谷 橋本 利根 様
天神 島田 睦男 様
中央 明石 睦則 様
貞月 神崎 節子 様
下牛隈 畠中 鈴香 様
飛鳥会館 南斎場 様
セレモニーホールおおつか様

【古切手】
平和舗道株式会社 様
（株）加地石油 様
（株）宮田工業所 様
（株）トモス 様
嘉麻市人権同和対策課 様
グランドベルズ飯塚 様
中益 浦田美香 様

【リングブル】
百々谷 石井 春美 様
尾浦第一 木下 松江 様
天神 島田 睦男 様
筑紫 原田 政子 様
筑紫 原田 ミツ子 様
さくらが丘 匿 名 様
石ヶ崎 桃崎 晃大 様
石ヶ崎 桃崎 奏大 様
古河 甲斐 良子 様
大隈 匿 名 様
中益 野見山佳乃 様
屏 有吉 弓子 様
稲築の環境を考える会 様
（株）加地石油 様
（株）宮田工業所 様
大隈小児童会 様
益田石油 様
グランドベルズ飯塚 様

（敬称を省略させていただきます）
9月1日～9月30日受付分

あなたの会費が、社協の地域活動を支えています

会員として、次の方々にご加入いただきました。

（敬称を省略させていただきます）
9月1日～9月30日受付分

《漆生本村》松熊三和子

《漆生中央》田中英樹

《東岩崎》山下タマノ、井上進、赤間正久、赤間司朗、赤間喜美代、山本賢次、松岡フミ子、山下和博、中嶋正光、松岡ミエ、松岡朝太郎、中嶋久信、中嶋清光、中嶋ヨシエ、野見山久、西野富士子、茶園司、高倉清美、金丸マサ子、秋穂裕美、平塚道子、広田鶴子、井上勝之、横手イソミ、山下巖、茶園愛子、瀨上末男、沖繁代、北原和江、山下久美子、瀬戸五六、山下君子、野上政代、渡辺静江、金丸千鶴子、山下サヨミ、西村恵美子、松崎弘枝、中嶋正江、秋穂美佐子、秋穂福光、松尾宗幸、金丸剛司、福澤敬二、平畑倫太郎、松岡麻里子、杉村力生、山下千恵子、須藤カツミ、白川八重子、香川静子、滝本豊

《西岩崎》西野久威、香月アサ子（一口）、江野富子、宮崎昭子、松熊律子、山倉依子、野見山静子、永光正子、前川洋子、有田民子、沖島万作子、松本ヒサ子、松隈櫻子、北原秀子、野見山幸子、永光信子、溝口節子、溝口光世、福沢道子、永光初代、水口孝子、永光博文、安倍薫

伊藤誠一、繁木シズエ、井上八重子、上岡智美、永光昌弘、金丸浩、清家キヨエ、永光カツミ、永田シゲ子、高橋修、平川久枝、中野アケミ、渡辺早苗(二口)、高原静男、河津英春、大場勝、木村一守、西野千恵、松隈写真館(三口)、池田保夫、副島光生、高嶋輝幸、右田伝、本田竹喜、金丸フクヨ、長岡カズ子(二口)、永野和則(二口)、野口涼子、佐藤文男、村川直、嘉穂観光(三口)

〔山野第一〕東富見子
〔鴨生第一〕市川かつみ
〔平第二〕山崎ぬい子、村岡隆志、佐藤一美、松本三枝子、大名家秋子、大友友就、佐藤典子、宮本敏夫、中島吉則、川端マサコ、大山征男、山本康治、西村光昭、竹村恵美子、清川栄、大和宗嗣、東川嘉明、西田昇、武田憲児、西坂勝正、岩橋トシ子、生田キミ子、今村トシ子、加来良子、伊藤鉄子、梅本重信、渡辺富美子、桐原理枝、松本芳明、宮内佐恵子、草場ミチ子、平田晶子、坂田公一、西田安之助、西田雅範、坂田清子、手島ミヤノ、岩崎哲夫、山平由美、宮崎紀久子、田村テル子、篠崎良輝、田中正孝、陶山茂、大庭勝三郎、中村朋子、砂浪喜信、竹川富士松、金本一郎、加地タクシ、松隈勇夫、大城淑子、橋本隆、倉智康治、山口未美、荒木勝英、花田匡哉、地蔵原満隆、駒山登志子、富山澄等、辛島貴嗣、西野はつ江、松隈タケ子、野川勝博、日田キヌ子、松岡俊秀、井下雄次、尾畑政雄、松本信子、西村富士子、大園節子、山室伸次、野口明美、金国

大介、手柴敏幸、富永政広、伊藤英暉、嶋田浩二
〔辻中籠〕廣岡アイ子
〔新山野〕新山野5組(二口)、新山野7組(二口)、新山野12組(二口)、新山野15組(二口)、新山野18組(二口)、新山野21組(二口)、新山野23組(二口)
〔平東〕中村カズエ、久保田範子、加藤友二郎、屏秋善、田中弘光、神田武美、服部光孝、飯田和代、角谷恵子、瀬戸山照香、野口清司、末武勲、山本重勝、宇野泰司、藤田義輝、古賀千尋、高木チヅ子、米矢正志、丸山光男、井下ツギ子、稲田鉄男、安倍緑、西まゆみ、佐野君代、林田政光、金部秀男、早川ツユ子、長岡美子、梅林道子、島田美喜子、津田ノブ子、山下サツエ、中野智子、梅野春夫、柴田日出喜、柴田ツネミ、高橋正吉、石橋末雄、佐藤正、梶原清、森明、藤田義富、高松徳一、池田素道、鬼丸砂子、宮崎啓子、森川勝、下土居幸子、岩本紀子、篠原千登勢、橋本進、雪竹雪江、松尾正則、金堀俊雄、橋本和利、酒井ヒロ子、西田鉄也、芳野正則、森本富江、佐藤侃恵、杉原芳子、大隈繁行、吉見文子、松尾美代子、西シズカ(二口)、縄田進、中嶋シヅ子、内野ヒサヨ、梶正司、山口卓史、山口美香子、矢羽田正人、石川愛子、小坪敏子、入江守、古藤悟、藤沢洋一、辰崎トミ子、梶原恵子、梶原信義、三木泰信、柴田迪一、佐伯照雄、岩井モリ子
〔銭代坊〕吉田康宏
〔飯田〕長松ミヤコ、鬼丸千枝子
〔上臼井東〕山根末歳

〔熊ヶ畑第二〕室井照美、大庭彰子、本川泰子、筒丸千月、米満正雄、大里悠治、広瀬通雄、広瀬澄夫、平嶋正、山田芳子
〔尾浦第一〕萩尾征男
〔百々谷〕坂本崇栄
〔下宮〕大塚秀樹、加来京子、都築光一、矢野栄一、井上正一、大里一男、松岡ミツ、入江芙美子、岩下一女、有吉国士、佐野敦、松岡伸彦、坂本智恵子、森茂、伸道庸正、廣谷マリ子、篠原孝一、今村きよ子、小野京子、清水礼子、伸道正行、石松初美、椿甫、林田一輝、平野千恵子、坂井政数、古賀聖一、井上学、内橋正、畑ミチ子
〔西川〕神宮昭三、河津映子、中村隆、松吉美和子、花田勝美、〔木城〕水之江哲実、小山寧子、小山一誠
〔中央〕坂本玉子、須崎醇二、納富玲子、松岡孝、山本トミコ、明石睦則、大里勝美、佐伯久美子
〔三菱第一〕野見山幸代
〔中山田下〕植木チエ子、岸本敏光、岸本道子
〔立石〕坂田三枝、松本志都、坂田俊昭、江崎義人、矢野久紀、新田芳子、山口かつ子、府川豊石倉幹代、有吉三郎、松岡健治郎、合代さゆり、合代敦子、松岡重宏、堂鼻邦夫、山崎勝、川原歌子、鹿毛幸一郎、有江伸一郎、坂口光夫、松岡幸代、坂田喜三郎、松岡伸、永松貞之、有江雅枝、山本シズエ、和田守之、松隈信一
〔三日町〕森田憲一郎
〔小野谷〕梅木道代

嘉麻市社会福祉協議会指定

葬祭場紹介

ひさつね会館

嘉麻市上山田971-4
☎(0948)52-0758

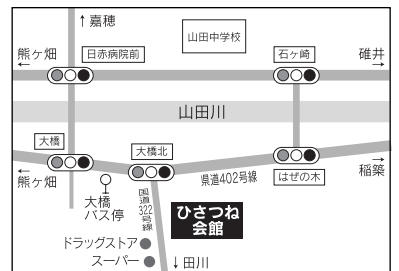
葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、ひさつね会館を含め、市内に8カ所あります。

- いすや会館.....☎57-4444
- セレモニーホールおおつか.....☎52-1212
- かほ葬祭 あじさい会館☎62-5566
- 善光会館 稲築会場☎83-5000
- おかむら葬祭 岡村会館☎42-4420
- 飛鳥会館 南斎場☎42-4241
- きど葬祭やまさ碓井斎場☎62-4499



- 24時間年中無休です。
- 細やかな心づかいで奉仕いたします。
- 事前相談を承ります。



▲最大200名程度収容可能な大ホールです。



▼人数に合わせて中ホールもご利用いただけます。



▲広々とした控室は、ゆったり過ごすことができます。

ふるさと 嘉麻よ！ ありがとう

ブラジルに移り来て50年。日本人がブラジルに移民して、103年になります。昨年は福岡県人移民100周年、福岡県人会80周年を祝いました。

どつぷりとブラジルの地に馴染んでいくつもりにも『ふるさと』と言われると、次々と思いが巡ってきます。

ブラジル日本都道府県連合会主催 移民

ふるさとめぐり」という催しがありますが、

1988年(昭和63年)から始まり、次回ブエノス・アイレス、ウルグアイで36回目となり、一度行ったら、病み付きになります。常連参加者も多く、常時90名から120名。一世、二世を惹きつけてやまない6日から8日間の、日系人ばかりの(65歳から85歳)のツアーです。千キロ、二千キロ離れた日系移住地の方々と交流を重ね、地元の人部の方々の心のこもったご馳走をいただいたり、お寺での法要、お墓にもお参りすることもあります。そして、最後にお別れに歌うのは『ふるさと』です。その度に参加者全員がそれぞれの『ふるさと』に思いを馳せ感情を込めて歌います。

私は馬見山のおもとの、田、畑に囲まれた、嘉麻川の支流が流れる、美しい自然の中で育ちました。桑野の方から大隈の方を見渡すと、麦の緑、レンゲの花のピンク、菜の花畑の黄色、その間を流れる嘉麻川、そのコントラストの美しさ。夏は川辺でホタルが夜空を彩り、ホーキを持って大きな声を張り上げてホタルを呼んだこと。秋は柿も色づき、トンボが夜空を飛び交う。冬の思い出は、高校は自転車通学で、雪の日は転んだり滑ったり、学校に着いたときは、スカートの裾はカチカチに凍ってしまったり。

四季折々の思い出は尽きません。今でも訪日した折には、小学校、中学校の9年間、同じ教室で机を並べた同級生達、今では良きおじいちゃん、良きおばあちゃんになっていますが、都合をつけては集まっていたら、不思議と子どもの自分に戻ってしまいます。この素晴らしい自然の美しさ、いつも暖かく迎えてくれる家族、友人達、近所の方々に励まされ、元気づけられ勇気をいただいで、心に沢山の思い出をつけてブラジルに帰ります。

私には素晴らしい『ふるさと』がある事を4人の子どもに、ことあるごとに話しています。母が健在だったうちに『ふるさと嘉麻』を何度も訪ねることが出来たのを感じています。今度は孫達と一緒に訪ねたいと思っています。『ふるさと』よ、ありがとう。



ブラジル在住
江藤キヌエ(旧姓 様)さん(71歳)
桑野出身

会員加入のお願い

嘉麻市社会福祉協議会では、市民のみなさんとともに福祉のまちづくりを推進していくため、会員を募集しています。年間を通じて受け付けていますので、ぜひご加入ください。

今回は、みなさまから寄せられた会費で実施している「子育てグループ連絡会」を紹介します。

市内にある3つの子育てグループは、子育て中の方が集い、情報を交換したり、親子でレクリエーションを行ったり、情報紙を発行するなど、それぞれが独自の活動をしています。

本会では、その代表者が集まり、活動内容の紹介や意見交換をする連絡会を年に3回開催しています。

共通の悩みを話し合ったり、他のグループの活動に参加するなど、この連絡会をきっかけに交流が深まり、活動も少しずつ活発になってきています。

■会員の種別と金額 一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 1,000円/年額
お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



直径が20cmほどもあるこの石炭は、大正元年(1912)に、三井山野炭鉱から掘り出されたもので、約100年が経った今でも、黒光りする姿を保っています。

これを所有している、阿南和江さん(漆生中央)にお話を伺いました。この石炭は、もともと、近所に住んでいた坑夫の方が保管していたもので、その方が亡くなった際に、捨てられそうになっていたところを譲り受けました。若い時に亡くなった父親が坑夫だったこと

もあって強く引かれて、大切にしていこうことを決めたそうです。「これを見ていると、父との思い出がよみがえるんですよ。」と阿南さんは語ります。

現在、この石炭は、阿南さんの自宅できれいに飾られており、父親との日々を思い出す、とても大切な宝物となっています。

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。(TEL 0948-42-0751)

